

平成18年7月10日公表

## 農業経営統計調査

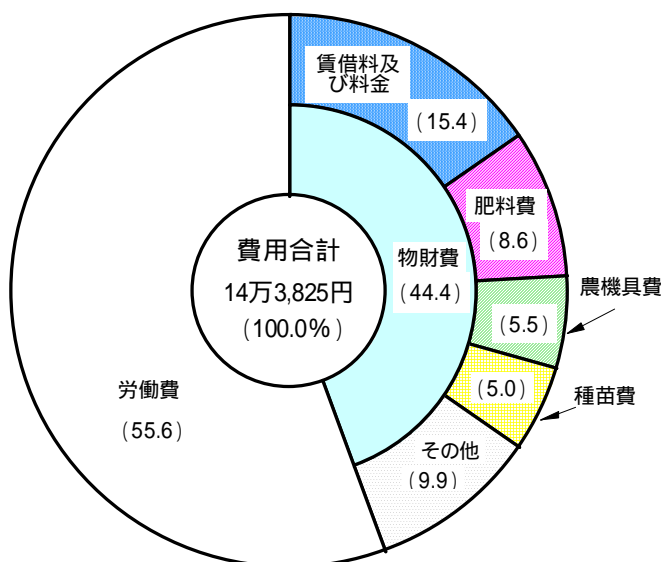
### 平成17年産 さとうきび生産費（鹿兒島）

10a当たり全算入生産費は、4.1%増加  
1t当たり全算入生産費は、13.2%減少

#### 【調査結果の概要】

- 平成17年産さとうきびの10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は16万1,813円で、前年に比べ4.1%増加し、1t当たり全算入生産費は2万6,528円で、台風により10a当たり収量が大きく減少した前年産に比べ、13.2%減少しました。
- 10a当たり全算入生産費が増加したのは、中耕除草、定植等の労働時間が増加し、労働費が増加したことに加え、賃借料及び料金、光熱動力費等の物財費が増加したためです。
- 10a当たり粗収益は12万4,551円で、収量の増加に加え、糖度が上昇したことにより、前年に比べ26.7%増加しました。

主要費目の構成割合（10a当たり）



#### 生産費及び収益性

区分	10a当たり		1t当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
	円	%	円	%
物財費	63,849	10.2	10,468	8.0
労働費	79,976	0.9	13,112	15.9
費用合計	143,825	4.8	23,580	12.6
生産費（副産物価額差引）	143,267	4.7	23,488	12.7
支払利子・地代算入生産費	149,983	4.2	24,589	13.1
資本利子・地代全額算入生産費	161,813	4.1	26,528	13.2
収量	6,099 kg	19.9	-	-
粗収益	124,551	26.7	-	-

この資料は、鹿兒島農政事務所ホームページの「数字で見る農林水産業」で御覧いただけます。

[ <http://www.kagoshima.info.maff.go.jp/index.htm> ]

E-mail kagoshima\_info@kyushu.maff.go.jp

【統計表】

1 生産費

区 分	10 a 当 た り				1t当たり (平.17)
	平.17	16	対前年増減率	費目別構成比 (平.17)	
	円	円	%	%	円
物 財 費	63 849	57 932	10.2	44.4	10 468
種 苗 費	7 255	6 991	3.8	5.0	1 190
肥 料 費	12 338	12 995	5.1	8.6	2 022
購 入	12 011	12 759	5.9	8.4	1 968
農 業 薬 剤 費	3 939	3 759	4.8	2.7	645
光 熱 動 力 費	3 673	2 956	24.3	2.6	602
その他の諸材料費	379	356	6.5	0.3	62
土地改良及び水利費	610	486	25.5	0.4	100
賃借料及び料金	22 171	18 663	18.8	15.4	3 635
物件税及び公課諸負担	1 555	1 394	11.5	1.1	255
建 物 費	1 516	1 267	19.7	1.1	250
償 却 費	1 462	1 053	38.8	1.0	241
自 動 車 費	2 234	1 857	20.3	1.6	366
償 却 費	607	635	4.4	0.4	99
農 機 具 費	7 962	7 119	11.8	5.5	1 305
償 却 費	5 291	5 203	1.7	3.7	867
生 産 管 理 費	217	89	143.8	0.2	36
労 働 費	79 976	79 267	0.9	55.6	13 112
家 族	72 077	72 028	0.1	50.1	11 816
直 接 労 働 費	79 280	78 635	0.8	55.1	12 998
間 接 労 働 費	696	632	10.1	0.5	114
費 用 合 計	143 825	137 199	4.8	100.0	23 580
購 入	57 191	52 199	9.6	39.8	9 376
自 給	79 245	78 041	1.5	55.1	12 992
償 却	7 389	6 959	6.2	5.1	1 212
副 産 物 価 額	558	327	70.6	-	92
生産費(副産物価額差引)	143 267	136 872	4.7	-	23 488
支 払 利 子 ・ 地 代	6 716	7 007	4.2	-	1 101
支払利子・地代算入生産費	149 983	143 879	4.2	-	24 589
自己資本利子・自作地地代	11 830	11 555	2.4	-	1 939
資本利子・地代全額算入生産費	161 813	155 434	4.1	-	26 528

## 2 労働時間

区 分	10 a 当 たり		
	平.17	16	対前年増減率
	時間	時間	%
労働時間合計	59.67	59.20	0.8
家 族	51.63	51.05	1.1
雇 用	8.04	8.15	1.3
直接労働(作業別)	59.15	58.70	0.8
耕 起 整 地	1.39	1.52	8.6
基 肥	1.28	1.25	2.4
定 植	5.46	5.26	3.8
株 分 け	5.38	5.36	0.4
中 耕 除 草	13.03	12.27	6.2
収 穫	24.58	24.51	0.3
そ の 他	7.41	7.71	3.9
生 産 管 理	0.62	0.82	24.4
間 接 労 働	0.52	0.50	4.0

## 3 収益性

単位 { 収 量 : kg  
金 額 : 円  
増減率 : %

区 分	10 a 当 たり			
	平.17	16	対前年増減率	
主産物	収 量	6 099	5 086	19.9
	価 額	123 993	97 963	26.6
収 益 性	粗 収 益	124 551	98 290	26.7
	所 得	46 087	26 112	76.5
	(1日当たり所得)	7 141	4 092	74.5
	家族労働報酬	34 257	14 557	135.3
	(1日当たり家族労働報酬)	5 308	2 281	132.7

注：この表の粗収益、所得、家族労働報酬については、主産物価格に含めている「農業経営基盤強化特別対策」の交付金の支払いが  
終わっていないため概数となっており、確定値は追って刊行する「第53次鹿児島県農林水産統計年報」に掲載します。

## 【利用上の注意】

- 1 本調査は、販売農家（経営耕地面積30a以上、又は過去1年間の農産物販売金額50万円以上の農家）のうち、さとうきびを10a以上作付けし、販売した農家を対象に実施しました。
- 2 この調査の期間は、平成17年4月から18年3月までの1年間です。
- 3 家族労働費は、家族労働時間に「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の建設業、製造業及び運輸業に属する5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（当該地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）を乗じて評価したものです。  
なお、平成16年産調査のうち、16年4月から12月については建設業、製造業及び運輸・通信業の賃金データを用いました。
- 4 地代のうち自作地地代は、その地方の類地（調査対象作目の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものです。
- 5 「収益性」の粗収益及び所得の算出方法は、以下のとおりです。
  - (1) 所得 = 粗収益 - [ 生産費総額 - ( 家族労働費 + 自己資本利子 + 自作地地代 ) ]  
ただし、生産費総額 = 費用合計 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代
  - (2) 1日当たり所得 = ( 所得 ÷ 家族労働時間 ) × 8 ( 1日換算 )
  - (3) 家族労働報酬 = 粗収益 - ( 生産費総額 - 家族労働費 )
  - (4) 1日当たり家族労働報酬 = ( 家族労働報酬 ÷ 家族労働時間 ) × 8 ( 1日換算 )
- 6 表中の記号は、以下のとおりです。
  - 「 - 」は該当のないもの
  - 「 」は負数又は減少したもの

この統計調査結果の詳細は、平成19年3月刊行予定の『第53次鹿児島農林水産統計年報』に掲載します。

この統計調査結果は、九州農政局鹿児島農政事務所ホームページ中の「数字で見る農林水産業」に掲載しています。[<http://www.kagoshima.info.maff.go.jp/index.htm>]

## 【関連リンク】

農林水産省施策関係ページ：農林水産省 > 農林水産施策について > 基本  
[<http://www.maff.go.jp/kihon.html>]

林業施策関係ページ：農林水産省 > 農林水産施策について > 林野  
[<http://www.maff.go.jp/rinya.html>]



## 問い合わせ

### 本統計調査について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部  
経営・構造統計課 経営統計第2係  
電話：（直通）099(222)7590  
FAX：099(224)1501

### 農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部  
統計企画課 企画係  
電話：（直通）099(222)7523  
FAX：099(224)1501